



地域がん診療連携拠点病院 <川崎市立井田病院からのお知らせ>



# 第58号 井田山



**基本理念** 「井田病院は、自治体病院として、市民から信頼され、  
市民が安心してかかれる病院づくりを目指します。」

発行責任者 神山 隆

編集 川崎市立井田病院 ホームページ・広報委員会

川崎市中原区井田2-27-1

電話 044-766-2188 (代)

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/33/cmsfiles/contents/0000037/37855/ida/index.html>



## <井田病院 化学療法センターのご紹介>



化学療法は精神的にも肉体的にも辛く、長期に及ぶ治療です。その様な治療をお受けになる患者様の心境に配慮し、当院化学療法センターは2階北西端の静かなエリアに配置されております。現在工事中の立体駐車場には緑の庭園が造られる予定であり、木目調の落ち着いた内装のお部屋の大き

きな窓から眺めながら、心穏やかに治療を受けて頂くことができます。

化学療法を受けて頂く前には必ず採血が必要になりますが、当院では化学療法センター内のベッドやリクライニングシートで採血を受ける事ができ、結果が出るまでそちらで休憩することもできます。現在、個室ベッド3床、ベッド9床、リクライニングシート8つで運用しており、個室はプライベートに関する内容の聞き取りや相談に、あるいは状態が悪くなった患者様にご利用頂いております。がん薬物治療を専門とする医師、看護師、薬剤師が、患者様の治療を支えてまいりますので今後ともよろしくお願ひします。



文責、化学療法センター長：玉川 英史

がん薬物治療専門医・腫瘍内科：西 智弘

がん薬物治療認定看護師代表：渡辺 恭子

がん薬物治療認定薬剤師代表：荒井 園枝

## — 井田病院の災害対策について —

当院は川崎市立病院として、災害時にも診療機能を維持・継続するために、次の対策を講じています。  
なお、当院は「神奈川県災害協力病院」に指定されており、災害時に災害拠点病院と連携・協力して医療を提供する任務を担います。また、「神奈川県DMAT-L指定病院」にも指定されており、県内で発生した災害の初動において現場活動や域内搬送等を行う職員が勤務しています。

### ～建物の構造～

- 院内すべての建物は震度6強の地震でも倒壊しません。  
◇病院本棟・・・免震構造(耐震構造に比べて構造体への負荷等が3分の1から5分の1程度に軽減されます。)  
◇緩和ケア病棟・・・耐震構造



病院本棟の免震構造(積層ゴム)

### ～電力～

2か所の変電所からの送電を受けるシステムを導入しています。  
落雷等で片方の変電所からの送電が停止したときは、瞬時にもう片方の変電所からの送電に自動切替されます。  
また、非常用自家発電機を有しており、1,600kwh(平常時電力の88%)の能力を備えています。外部からの電力が停止した場合には、自動的に起動して約1分後に送電を開始します。フルパワーでも3日間連続運転できる分の燃料を備蓄しています。

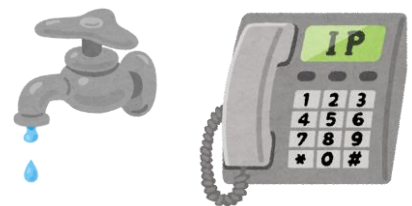
さらに、一瞬たりとも停電の許されない機器(手術室、人工呼吸器、透析装置等)は、無停電電源装置という大型のバッテリーを介した無停電のコンセントに接続されており、外部電力から非常用自家発電機の送電に切り替わる1分の間も停電しません。なお、無停電のコンセントは緑色、非常用自家発電機対応のコンセント(起動までの約1分間は停電)は赤色、その他の一般系統(停電時は停電)は白色というように色で識別でき、用途に応じて使い分けています。



非常用自家発電機

### ～水～

清潔の確保や人工透析には欠かすことのできない水は、平常時の3日間の使用量分の水が蓄えられています。(約900立方m)



### ～通信回線～

災害時に固定電話や携帯電話等が利用できなくなった際の通信手段として市の防災無線に加えて衛星電話を2台保有しています。毎月通信訓練を行い、多くの職員が使用方法を習得しています。

### ～訓練～

有用な設備や高度な機能を活用し、災害協力病院としての役割を確実に発揮できるように毎年1回、病院長以下多数の職種の職員が参加する実践的な災害医療訓練を行っています。消防局職員や看護専門学校学生など当院職員以外の方に参加いただくなど大規模な訓練となっています。



昨年度の訓練の様子

(文責:事務局庶務課災害担当)

## ◇10月から勤務開始の新任医師ご紹介◇

### 救急センター医長 大城 健一（おおしろ けんいち）

10月より救急センター・救急科に着任しました。平成18年より川崎病院総合診療科、平成20年～平成28年9月まで同救命救急センターで救急専門医として従事しておりました。前職同様、井田病院救急センターも地域に信頼される救急医療の要となるよう取り組んでまいります。また川崎市災害医療コーディネーターとして、院内・地域の災害医療の体制整備にも関わっていきたいと思っております。



### 腎臓内科副医長 森本 耕吉（もりもと こうきち）

10月から腎臓内科副医長として着任しました。平成26年度に引き続き2回目の着任となります。何卒宜しく願い申し上げます。専門である腎臓内科ならびに透析の診療にしっかり取り組んでまいります。加えて、腎機能障害や電解質異常を合併した他科の症例でお手伝いできることもあるかと存じますので、どうぞご遠慮なくお申し付け下さい。



# 検診のご案内

☆☆ 横浜市在住の方 注目！！ ☆☆

## 乳がん検診 はじめます！

12月より、横浜市の公的検診「乳がん検診」を  
井田病院でも受けられるようになります！

ただ今、ご予約受付中です！



がんは早期発見、早期治療が  
肝心です！  
がん検診を受けましょう！

詳細につきましては直接お問い合わせください。

電話 044-766-2188 (代表)

時間 13:00~16:00